



地域医療連携室だより

2018年度 第2号 7月

大好評の「新・健康講座」

～名称を変更し、1回目は大塚副院長が担当～
能代市以外の他県・他市町村の方も多数参加！

当院では地域住民の皆さんを対象に、健康増進や病気予防などに役立ててもらおうと「市民講座」を開催しておりましたが、他県・他市町村の方々も参加したいとの要望があり今年度から「健康講座」と名称を変更し開催することになりました。



記念すべき1回目は「どのような人が手術になるの？～整形外科編～」をテーマに大塚副院長が講演をしました。大塚副院長は、人工関節置換術で歩けるようになった事例を紹介しながら、手術になる人は、「心が健康な人」「痛みや苦痛をしっかり言える人」「病気で困っている人」「手術後にスポーツや仕事などの目標がある人」を挙げました。

当院では高齢者でも手術を希望する方が多くいますが、「投薬で治る人、リハビリで治る人、手術が必要な人を見極めながら治療を行っている」と親しみやすい口調で話しました。

講座終了後に提出していただいたアンケートには、「たいへん参考になった」「これからも講座を続けて欲しい」「また参加したい」など好評な意見がありました。その一方で病院に対しては、「予約なのに待ち時間が長い」等の厳しい指摘も書かれておりました。当院としましては、今後このようなご意見に真摯に対応いたして参りますので、引き続き多くのご意見をいただけますようよろしくお願いします。



次回の健康講座は下記のとおり行いますのでご参加の程、よろしくお願ひ致します。

(地域医療連携室 褐田宏人)

次回の健康講座

日時：7月19日（木）15時～16時頃

会場：JCHO秋田病院2階 健康管理センター大ホール

テーマ：「知って得する、血糖のお話」

講師：糖尿病看護認定看護師 加藤 美由紀

（当院 人工腎センター 看護師長）

看護の日

今年は認知症検査、フットケア、
オムツの選択法を追加
～内容をパワーアップして開催～

飾り付けた会場



フットケア

毎年当院で行っている「看護の日」。今年は例年よりさらに内容をパワーアップし、たくさんの方々にお越し頂き大成功に終えることができました。毎年行っている血圧測定&手マッサージ、骨密度測定、栄養指導、手洗い指導に加え、今年は認知症検査や当院認定看護師によるフットケア、オムツの正しい選択方法なども行い、来場者の方はそれぞれのブースで様々な体験をされておられました。一部の方からは、「毎年來てるよ」や「こういうイベントがあればありがたいね」などのお言葉をいただくことができました。

この看護の日のイベントが地域の方々や患者様とより深くコミュニケーションが取れる場になればと感じております。今年は都合により毎年大人気の腰痛体操を行うことができず、たいへん申し訳ございませんでした。

次年度は、さらにパワーアップしたイベントを行いたいと思っておりますので、ぜひまたお越しください。病院スタッフ一同お待ちしております。ありがとうございました。

(看護師会会長 褐田ひとみ)



オムツの選択法



認知症検査

テイクアウト専門店がオープン 地元の今出川珈琲館が出店

地元の喫茶店が当院にテイクアウト専門店を開店しました。開店したのは、平成12年に開業した老舗の今出川珈琲館。こだわりの自家焙煎コーヒーを患者さまや職員に手軽に楽しんでほしいと開店を決めたそうです。メニューはコーヒーのほか、カレー、パスタなどの軽食、新発売のレタス・ドックなどのパン類、コーヒーあんみつなどの甘味などを取りそろえています。その中で人気なのが当病院の名が入ったコーヒー「J CHOブレンド」があります。

来院の際には、どうぞご賞味下さい。

営業時間は午前9時30分～午後3時。

土曜・日曜・祝日は定休日となっています。

(地域医療連携室 褐田宏人)



「もの忘れ外来」のご紹介

些細なことでも、ぜひご相談下さい！

当院では、毎月第1・3水曜日の午後に「もの忘れ外来」を開設しております。

例えば…「この頃、よく忘れることが多くなった」という方、「家族の認知症と思われる症状が心配」という方、また「診断を受けているが、日常生活に困難を要してきた」など認知症に関する心配事や相談をお受けしております。

診察にあたる医師は、杉山病院（潟上市）から認知症の専門医を迎えて、患者さまやご家族としっかりと時間をとって診察を行います。

なかなか気軽に病院に足を運ぶことができない分野ではありますが、物忘れが気になり始めた状態から生活にも支障をきたす困難な状態まで幅広く対応できますし、当院には認知症看護認定看護師もおり、一緒に対応にあたります。些細なことでもご心配がある方は、ぜひ外来にご相談ください。

診療時間：毎月第1・3水曜日、13時30分～（要予約）

予約受付は当院内科外来（14時～17時）までご連絡ください。

（外来 副看護師長 八木順子）



実践に即して、消防訓練実施

～停電対応、通報訓練、院内巡視、消火訓練、情報伝達訓練～

6月12日（火曜日）に消防訓練を実施しましたので報告いたします。消防訓練は年2回の実施が義務付けられており、大きく春と秋に実施しています。今回は午前中に附属老健の停電時対応用の自家発電機の始動テスト、午後は通報訓練、院内巡視、消火訓練、情報伝達訓練を実施しました。

そのうち情報伝達訓練は JCHO 秋田病院の「災害時連絡体制登録書」（緊急連絡網）に基づき実際に即して電話のリレーを実施しました。今回の訓練では概ねスムーズに電話リレーを実施出来ましたが、夜間・休日の際に速やかな情報伝達が可能かどうかは次回の課題として残りました。



消防訓練の目的は、消防器具の正しい使い方を理解すること、消防設備の動作状況を理解すること、そして防災意識を高めることにあります。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願ひいたします。

（課長補佐（管理）橋本正明）

附属介護老人保健施設申込みについて Part 1

入所(定員100名)申込みの流れ(要介護1~5の方が対象)

① 電話にてお問い合わせ下さい。(TEL0185-52-6600)

- ・ご家族に来所していただく日程調整を行います。ご連絡なく来所されると、担当者不在等で随時対応できない場合もあり、お待ちいただくか後日再度来所していただく事となりますので、あらかじめお電話をお願いします。

② 当施設へ来所していただき、入所希望の理由や現在の状況等をお伺いします。

- i その他入所にあたっての注意事項や料金等の説明をさせていただきます。
- ii 申込書(ご家族が記入)と診断書(主治医から作成していただく)をお渡します。

③ 申込書と診断書の提出をしていただき受付完了となります。

④ ご本人様の状態確認のためご自宅や入院中の病院、または入所中の施設へ訪問します。

- ・病院や施設スタッフの方から医療、リハビリ、介護に関する情報を確認します。

⑤ 診断書の内容と訪問調査等の結果をもとに入所可否を判断し、判定結果をご連絡します。

- ・入所可の場合その旨を連絡後、入所の調整に入ります。ベッドの空き状況、ご家族様のご都合等を調整し入所日時を調整いたします。判定の結果、入所困難となつた方にも、結果とその理由をご説明するお電話をします。

施設入所



明るいスタッフルーム



相談室は個室です

附属介護老人保健施設申込みについて Part2

通所リハビリ（1日定員40名、月曜から土曜日）申込みの流れ

要支援1～要介護5、能代市内の方が対象

① 電話にてお問い合わせ下さい。（TEL0185-52-6600）

- ・利用予定者様の住所や状態、希望回数・曜日を確認させていただきます
- ・ご家族にも説明がありますので来所していただく日程調整を行います

② ご家族（可能であればご本人さまも）に当施設へ来所していただき、利用にあたっての注意事項や料金等の説明をし、施設内をご案内します。

- ・申込書（ご家族が記入）と診断書（主治医から作成していただく）をお渡します。

③ 申込書と診断書を提出していただき受付完了となります。

④ 診断書の内容をもとに利用可否を判断し、判定結果をご連絡いたします。

- ・利用可の場合その旨を連絡後、利用の調整に入ります。判定の結果、利用が困難となった方にも、結果とその理由をご説明するお電話をします。

⑤ 利用開始前にケアマネージャーを含め担当者会議を開催し最終確認を行います。

↓
通所リハビリ利用開始



通所リハビリ室

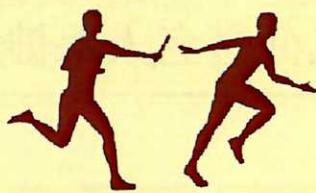


浴室にあるミスト浴

- ・判定については受付完了から約10日前後でお伝えしますが、診断書や訪問調査等の内容によってはそれ以上のお時間をいただく可能性がありますのでご了承下さい。
- ・デイケアの空き状況は、当施設のホームページにも掲載しておりますのでご参考にして下さい。

(医療社会事業専門員 三熊正輝)

職員ペンリレー



ランニング再開でストレス解消！ ～フルマラソン完走が目標～

老健施設 3階介護福祉士の熊谷圭輔です。気持ちの良い春も終わり、暑い夏が近づいてきました。冬の間、できなかった趣味のランニングを春先から再開したのですが、体力が落ちたのか、体重が増えたのか以前のように走れなくなっていました（汗）。それでも、タイムも気にしないで気ままに走るのも楽しいので、海沿いの道を波の音や潮の匂いを感じながら走るのは癒され、良いストレス解消になります。自然を楽しみながら少しづつ体力を戻していくからはフルマラソン完走が目標です。まだまだ先になると思いますが頑張りたいと思います。仕事の方は、今年の2月に入職してだいぶ慣れてきましたが、まだまだ勉強することはたくさんあります。こちらはゆっくりマイペースとはいないので、これからも全力で頑張りたいと思います。

（介護福祉士 熊谷圭輔）



独立行政法人地域医療機能推進機構
秋田病院
地域医療連携室
秋田県能代市緑町 5-22
電話：0185-52-3271（代表）
FAX：0185-54-7892（代表）
FAX：0185-54-1266（連携室直通）

編集後記

高松：趣味って大切。多少のストレスを良い刺激と捉え、プチリセット法を見つけましょう。

塚本：天気に気分が左右されがちですが、上手にストレス解消し笑顔で頑張りたいです！

安藤：安室ちゃんの引退 同じ年の私… 感慨深いなあ。

小野：新年度、もう3か月？ まだ3か月？ 時の流れの感じ方は人それぞれですね。

袴田：大阪の地震、各地の地震、日本は大丈夫かな？ 被災者の皆さん頑張って下さい。